

情報 FUKUOKA

第112号

トライ



JRTU 発行者

九州旅客鉄道労働組合
福岡地方本部

発行責任者 岩永 康志
編集責任者 森永 克章

北九州市小倉北区室町3-2-155
NTT (093) 583-3385
JR (091) 4307~4308

統一地方選挙勝利・ベア獲得に決意を誓う

「福岡地本2015新春の集い」開催

福岡地本は1月17日、北九州市で、2015年新春の集いを開き、関係労働団体や友誼団体、地本議員団グループ労組の代表など多くの来賓が出席するなか、2015春季生活闘争をはじめ、統一地方選挙勝利、株式市場に向けた取り組みなど、当面する諸課題の解決に全力で取り組ん

福岡地本は1月17日、北九州市で、2015年新春の集いを開き、関係労働団体や友誼団体、地本議員団グループ労組の代表など多くの来賓が出席するなか、2015春季生活闘争をはじめ、統一地方選挙勝利、株式市場に向けた取り組みなど、当面する諸課題の解決に全力で取り組ん

は、全ての推薦候補の当選を目指し、組合員一丸となつて取り組んで行く。また、昨年新しく誕生した、JR九州鉄道営業労働組合と、JR九州システムソリユーションズ労働組合の2つのグループ労組とも今後は力を合わせてグループ労組全体で活動を進らせていきたい」と3点について所信を述べました。(写真見)

2015年福岡地本 新春の集い



その後のレセプションでは、参加者同士の融和を図りながら、2015春闘勝利をはじめ、統一地方選挙勝利にむけた取り組みや、組織機構の見直しなど、当面する諸課題の解決に、全力で取り組んでいく決意を参加者全員で確認しました。

永年分会会長表彰 5名に感謝状贈る



福岡地本は、2015新春の集いのなかで、長きに渡り組合員の世話役活動に努められてきた分会役員5名の方々に対し、これまでの功績を称え感謝状を贈りました。

今回、感謝状を贈ったのは、山口満彦さん、門司車直さん、香椎駅連合分会、藤木直次さん、元南福岡運動区分会、船頭洋

和事業開発分会の5名で、岩永委員長より賞状と記念品が贈られました。受賞者を代表して、香椎駅連合分会の高橋さんが挨拶し、私がずっと言い続けてきた、九州鉄道営業の組合の立ち上げが昨年やっと思つと同時に、訴え続けることの大事さを改めて感じました。今後も分会をはじめ、JR九州労組のさらなる発展に寄与していきたい。

「全分会代表者会議」開催

福岡地本は新春の集いと同日、同市において全分会代表者会議を開催、47分会中42分会の分会役員と支部役員が参加し、次期ダイヤ改正や今年度の下期効率化施策への対応、また統一地方選挙に向けての取り組みや組織の見直し等、当面する課題について議論し、取り組みの強化に向けて話し合いました。



いと、謝辞を述べるが、会場からは盛大な拍手が送られました。受賞された5名のみならず、これまでの世話役活動、大変おつかれさまでした。今後もご指導のほどお願いします。

事務所開設

2月8日(日)にJR九州労組の組織内公認候補である、田中丈太郎福岡市議会議員と松尾哲也大牟田市議会議員の二人が、4月の統一地方選挙に向けて、それぞれ事務所を開設し、当日集まった仲間達とともに、選挙の勝利を誓い合いました。



委員長のつぶやき

「賃上げ」時短「政策・制度実現」を「本柱」と位置づけ、底上げ・底支え、格差是正の實現と、デフレからの脱却を果たすべく、2015春闘がスタートした。▼昨今の景気動向等はどうかというの、GDPは2期連続のマイナス、一方、雇用状況を示す有効求人倍率は1.18倍と1倍を超えている。しかし、地域間の格差は更に拡大し、正社員としての求人倍率は0.6倍しかなく、依然として低位のままである。▼雇用の質を改善させていかなければ景気の回復を望むことは難しい。個人消費を拡大させ、経済の好循環を生み出すべく、賃上げの實現を図るとの社会的使命が労使の共通認識として根底に据えられていなければならない。▼1997年をピークに下降したままの賃金水準と目減りしていく実質賃金に歯止めをかけるその改善を實現していくことが求められている。▼また、ワークライフバランスの實現に向けて、会社内における諸課題は山積しており、女性が働き続けることが出来る条件の整備が急務である。これまでの具体的な事象も含めて、引き続き、積極的な現場からの提言が極めて重要だ。▼青年・女性委員会での独自アンケート調査や、女性会議などの懇談交流会の開催など、目に見える活動を継続展開し、具体的な意見を基に改善に向けた要求化を図ること。そして、その實現に向けて粘り強い交渉と要求根拠を裏付ける更なる調査活動の連携など、取り組みの強化を切に訴えておきたいと思う。